

アルコール関連問題と自殺予防

アルコール使用障害は、将来の自殺のリスクを、60～120倍に高める。自殺既遂者に関する調査でも、2～4割にアルコール使用障害が認められたという。日本はお酒に寛容となすところからもそうであるが、多くの国でも国内アルコール消費量と男性の自殺死亡率に正の相関がみられ、アルコールは、うつ病とともに重要な自殺のリスクとなっている。

主催

大分県、公益社団法人 全日本断酒連盟、一般社団法人 大分県断酒連合会

後援

厚生労働省、大分市、大分県社会福祉協議会、大分県精神科病院協会
大分県精神保健福祉士協会、大分合同新聞社、NHK大分放送局
OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送



日時

令和元年

11月24日(日)

**入場料
無料**

13時～16時30分(受付開始12時)

ところ

全労済ソレイユ 7階カトレア

大分県大分市中央町4丁目2番5号 TEL:097-533-1121

1. 体験発表

- ・アルコール依存症を克服して断酒に精励している当事者本人
- ・アルコール依存症の病気と向き合い支えているご家族

2. 基調講演

演題 「酒は百薬の長 されど万病の元」
～私からの断酒のススメ～

講師 杵築市立山香病院 病院事業管理者

院長 小野 隆司 様



■お問合せ先(一社)大分県断酒連合会事務局
〒874-0014 大分県別府市亀川浜田町 36-1
TEL/FAX:0977-67-3145



この講演会の経費の一部に、
赤い羽根共同募金の助成金が充てられています。